

看護部だより

ひまわり

2010年5月
発行責任者：山口圭子

VoL.6

新人看護師研修始まる！

今年は11名の新人看護師が入職しました。そのうち5名は、昨年8月のインターンシップに参加しています。“平成生まれ”の看護職も誕生しました。今年の新人は一般社会では「ETC型」と呼ばれているようですが、当院の新人は「何型」でしょう？

ローテーションによる研修の方法は、昨年と大きな変更はありません。スタッフ1人ひとりが、先輩看護師として“プロの技”や“やりがい”“看護の楽しさ”を伝え、新人看護師の皆さんが、「当院に就職してよかった」「看護師になってよかった」と思ってもらえるよう、しっかりとサポートをお願いします。(看護部 山口)

中村 美穂

毎日ではじめての経験で緊張や戸惑いもありますが先輩方の指導のもと、一生懸命少しずつでも習得していけるようがんばっていききたいと思います。
これからいろいろご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願いします。

久保 由美子

4月から3階東病棟で勤務となり、毎日分らないことばかりで迷惑をかけることも多いと思いますが、がんばりますのでよろしくお願いします。
ローテーションで各病棟をまわり、一つ一つ学び知識・技術を深めていきたいです。

飯田 孝洋

4月から新人としてスタートとなり、現在新人研修を受けています。知識・技術ともに未熟であり、研修を通し基礎から一つ一つを学ぶとともに、先輩からも多くのことを吸収して、自分の知識・技術の向上を図れるよう努力していききたいと思います。

猿渡 夕紀

川内看護専門学校で5年間学び、4月から看護師として勤務しています。旅行やドライブに行ったり、人と話をすることが好きです。皆さんにも気軽に声をかけていただけたらうれしいです。毎日笑顔を保ちながら仕事をがんばりたいと思います。よろしくお願いします。



NEW FACE紹介

西本 拓真

出身校は加治木看護専門学校です。看護師として本当にやっていけるのかと不安もありますが、少しでも先輩達の背中に追いつけるようがんばっていききたいので、たくさんのご指導等をよろしくお願いします。

上之原 安紀美

看護師として何もかもに精一杯の毎日ですが、日々学ぶことや感じることを大切に、「昨日の自分よりも一歩ずつ成長すること」を目標にがんばっていききたいと思います。

そして自分なりにうまく息抜きをしながら、温かな心と笑顔を保ちながら仕事をがんばっていききたいと思います。

中間 勇二

学生として3階東病棟で3年間働かせていただきましたが、多くの先輩たちに支え励ましていただき、学校を卒業し国家試験にも無事に合格することができました。看護師としてはまだまだ知識・技術ともに未熟ですが、一つ一つ学ぶ姿勢でこれからもがんばりたいと思います。ご指導よろしくお願いします。

宮里 美樹

地元である川内で看護師としての第一歩を踏み出すことができ、うれしく思います。まだわからないことや不安なことがあります。どんな時でも笑顔を保ち、明るくがんばっていききたいと思います。よろしくお願いします。

福山 由夏

今は慣れないことも多く、緊張と不安でいっぱいですが。少しでも早く慣れ、看護師として患者さんにより看護が提供できるよう日々努力していききたいと思います。カラオケと買い物をすることが好きなので、休みの日にはストレス発散しながら仕事をがんばっていききたいと思います。

山内 さやか

今年、川内看護専門学校を卒業して現在4階西病棟で勤務させていただいています。

趣味は映画鑑賞と温泉巡りです。学ぶ姿勢を忘れず、一生懸命学び続けていきたいと思います。よろしくお願いします。

堀之内 梓

野田女子高校卒です。小学校から高校まで9年間バレーをしていました。スポーツは大好きです。少しずつ病棟には慣れてきましたが、業務に追われる日々が続いています。1年後に少しでも自分が成長したと思えるようがんばりたいと思います。よろしくお願いします。

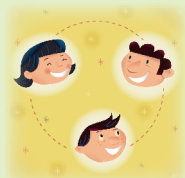
H22年度 看護部テーマ

信頼され感動を分かち合える看護！

＜誇りを持ち、互いに成長する職場風土づくり＞



教育委員会テーマ 自ら学び、互いに成長する力を育てる



今年4月、保健師助産師看護師法に看護職の責務として研修を受け、資質の向上を図るよう努めることが明記されました。自分たちのケアを振り返り、よりよい看護実践について考え、互いに刺激し合い、キャリアアップをめざしていくことをテーマとしました。

看護業務委員会テーマ 質の高い看護の提供《看護過程の充実》

* 各部署の委員が計画的に取り組みます。ご協力をお願いします。

看護業務検討部会

継続的に個性のある看護の提供
固定チームナーシングの
役割認識の向上

看護基準・手順検討部会

看護基準・手順の
充実と浸透を図り
標準的看護ケアの提供

看護情報管理部会

看護過程の見える
記録の充実

主任会の取り組み



昨年作成した『NANDA看護診断分類13領域のマニュアル』を活用しながら、看護過程の充実を目指します。

テーマは

患者さんと共に喜べる看護

です。

看護の過程の6つのステップを理論も使いながら患者さんにも参加していただき実践できるように取り組みたいと思います。

一緒に、一人一人の患者さんと共に満足し喜べる看護について考えていきましょう！！

CP委員会の活動

今年度の目標は、昨年に引き続き「CPの浸透」となりました。

昨年より紙CPから電子カルテCPへの移行が徐々に行われ、少しずつCPの電子化が進んできたように思います。CPを活用することで

- ①計画性のある質の高い医療の標準化が図れる
- ②患者満足度の向上(インフォームド・コンセントの充実)
- ③医療の安全性の向上
- ④医師・看護師の業務負担の軽減(指示・記録の簡略化)
- ⑤入院期間の短縮

など、利点があるといわれています。今年度は100%電子カルテへの移行を目指し、皆さんに使われ、かつ患者さんの満足度を上げられるツールとなるようがんばっていきたいと思います。(CP委員会担当:濱田知美)

電子カルテへ移行





各部署の目標



外来 継続した看護を通して外来看護の向上に努める

急性期疾患から慢性期疾患への疾病構造の変化、患者の高齢化、在院日数の短縮化など、さまざまな社会状況の変化により外来における継続的看護が重要視されてきています。

そこで外来目標を掲げ、3つの小集団で活動していく予定です。主に

①継続看護の活性化に向けて外来サマリの活用を強化していく

②外来看護の専門性の向上に対しては、看護記録や看護計画の立案をはじめ、受け持ち制導入を目指すこと、またカンファレンスや学習会を開催するなど計画しています。

短時間で的確な判断をし、安全で適切な看護ケアの提供に向けて皆で協力して取り組んでいきたいと思っています。

手術室 患者の記憶に残る手術室看護の提供

手術室看護師と患者さんの関わりはとても短い時間でしかありませんが、その限られた時間の中で、患者さんに安心して手術を受けていただけるようにと、皆熱い思いでがんばっています。そんな熱い思いを持った私たちの年間目標です。

術前訪問はもちろん、術中・術後訪問の充実を図り、その質についてもきちんと評価していく予定です。実施にあたり、病棟・外来との連携や情報交換ができたと思っています。また、昨年度に引き続き、手術室看護師としての専門知識・技術の向上にも重点をおいています。勉強会の企画や院外研修への参加、各自が自己研鑽に努めていくことが重要だと考えています。手術室一同本年度もがんばります！

3東 患者・家族の意志を尊重した看護の提供 責任と自覚を持った看護実践

Aチーム目標: 専門性を高め安全で信頼される看護が提供できる

Bチーム目標: 受け持ち看護師としての自覚と責任を持って看護を提供する

今年度は「個々に責任を持った看護を！」をテーマにし目標設定しました。「責任」を持つことで患者さんとの関わりが深まり、自己成長にもつなげていきたいと思っています。

3西 チーム力を高め、患者さんの機能を 精一杯発揮できるよう支援する

整形外科の患者さんは、突然の受傷で入院になる場合がほとんどです。そんな患者さんたちは100%元通りになって帰れるという気持ちで入院されます。しかし、実際に受傷前の機能レベルで退院される方は一握りもいません。泌尿器科も同様で、膀胱カテーテルを留置したまま帰宅となる患者さんや、ウロストミーを造設される患者さん等、ボディイメージの変調をきたす場合があります。両科とも何かしら障害が残る、不安な思いをかかえ帰られています。そんな患者さんたちの心の痛みを少しでも楽にでき、身体の機能をより改善できるようにお手伝いがしたいと考え、この目標にしました。

1年間スタッフ皆で取り組んでいこうと思っています。

4東 共に喜びが得られる (患者・家族・コメディカルのすべての関わる人たち)

Aチーム目標

「一人一人を大切に」～入院してよかったと思える看護の提供～

①患者参画型看護

…患者とともに計画を立案していく・C P活用の充実

②フィッシュ課…入院生活を楽しく過ごすための支援活動

③看護技術の統一・専門的知識の向上

…看護の統一を図ることで患者満足へつなげる

Bチーム目標

「安心して退院ができるような退院指導ができる」

①日常生活指導(パンフレットの充実)

…パンフレットの見直し・作成・活用の充実

②服薬指導

…患者・家族の協力を得て自己管理ができる指導・教育を行う

看護助手チーム目標

「環境整備を通して、患者に安全で安楽な入院生活を提供することができる」

4西 情報を共有化することで統一した看護を行う ～患者・家族の声に耳を傾ける姿勢を持つ～

Aチーム目標「患者・家族に安心感を与える看護の提供」

Bチーム目標「患者・家族の要望を取り入れた看護計画立案・実施」

目標の大きな柱として、カンファレンスの充実、記録の充実、各スタッフの役割認識の確立の3つをあげました。それぞれの目標がリンクし、行動できることで各個人目標、チーム目標、病棟目標、看護部目標の達成につながられ、質の高い看護の提供を目指していこうと考えます。

回復リハビリ 先取り看護の実践 ～患者満足度の向上を目指して～

Aチーム目標「知恵を出し合い思いやりのサービスを行う」

小集団目標(看護師チーム)

…生活リハを充実し活動性アップへ繋げる

小集団目標(助手チーム)

…日常生活動作向上につながる効果的なレクリエーションを計画し実施していく

Bチーム目標「患者家族の思いを共有し他職種とも連携を図りながら退院の環境を整えていく」

小集団(看護師チーム)目標

…退院支援につながるリハビリカンファレンスの充実を行う

小集団(助手チーム)目標

…転倒予防に努める環境整備を行う

院内S-QUE研修1000'Eナース コメント

3/3 放送

「看護必要度と看護記録について」

今回看護必要度についてのDVDを視聴し、なぜ看護必要度というものができたのか、なぜ毎日看護必要度を記録する必要があるのかを改めて知ることができました。

看護必要度とは、それぞれの患者さんの看護度を明確化しやすくするために作られています。そして、私たちが毎日記録している看護必要度によって、診療報酬加算が受けられるかどうかが決まります。私はこのことを聞いて少し図々しいかもしれませんが、日々私たちががんばって看護にあたっている証を残せるものなのかな、と思いました。

でも、実際の必要度の中身は、とても細かくて判断に困ることもあります。このDVDでは、いくつかの事例をもとに必要度のつけ方を教えてくれるので、とても分かりやすかったです。ぜひ皆さんも一度見てください。(奥平)

3/7 放送 「看護診断 (記録) について」

看護師になり、今年で7年目になります。記録と聞けば日常的にしていることで、入職時はアセスメント、診断、計画、実施、評価と時間を考えながら記入していました。しかし、現在では特にアセスメント、診断ということに関してあまり内容が充実していなかったように思います。このDVDはなぜ看護師がSOAPに病名を入れたらいけないのか、また看護プロファイルの中にある役割関係やコーピングなどが入っているのがよく分かると思います。記録に関してもう一度確認するために、おすすめのDVDだと思います。(小園)

4/22 放送「エビデンスに基づいた感染管理の知識とスキル」

バランスの崩れたときに感染を発症します。即ち、患者さんはまさにこの状態に置かれているために、医療従事者が感染源とならないように努めることが大事です。そのためにもスタンダードプリコーションをしっかりと身につける必要があります。

オランダにはMRSAがないそうです。ラウンドの際はポリスマン(ラウンドは指導でもなければ体罰でもない)にならず現場で「対話」を行います。どうすればよいか共に考えていくことで防いでいるそうです。学習しやすい内容となっているのでぜひ皆さんもご覧ください。(川畑)

次回S-QUE院内研修1000'放送予定

6/3 院内急変の対応(基礎編:心肺停止)

7/1 看護サービス論

6/17 院内急変の対応(応用編:急変場面シナリオ)

7/15 認定看護師、専門看護師になるために

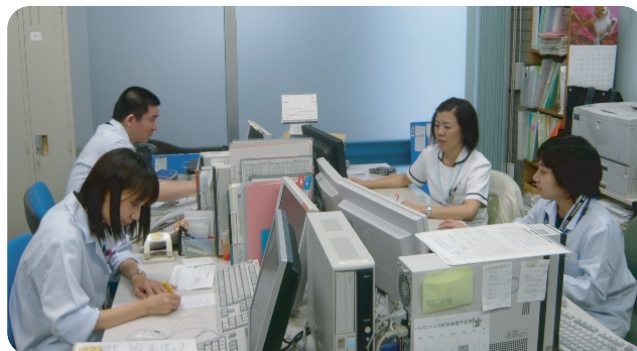
地域医療連携室の取り組み

地域医療連携室長 長井砂都美

地域医療連携室の業務は大きく2つに分けられます。1つは医療機関等との連携に関する業務、もう一つは患者さんの医療相談などの相談業務です。

医療機関等との連携に関する業務には、外来受診、入院に関して、紹介医への受診報告と情報提供書(返書)発送や、これらの統計業務を行っています。また、地域連携パスの事務局となり、BASパスの運営や新しくAMIの連携パスにも取り組んでいます。相談業務に関しては、各担当MSWが患者・家族の医療、介護、福祉制度に関すること、転院、退院に関する相談に応じています。

各医療機関の役割分担の明確化、在院日数の短縮、高齢化、独居・老夫婦世帯の増加など、今後地域医療連携室に求められることはとても大きいと感じています。今年度はより連携を充実させるために、まず地域の医療機関を30施設訪問させていただきました。多くの意見交換ができ、有意義なものとなりました。



45歳でチャレンジ！

感染管理者 中野智子

3年間、院内の感染管理を担当してきましたが、迷うことや悩むことも多く「自分に自信がない、本場でこれでいいのか？」と思う日々でした。今回運よく北里大学看護キャリア開発研究センターの入学試験に合格し、感染管理認定看護師教育課程で学ぶことができました。初めての都会暮らし(?)に不安もありましたが、なんとか無事に卒業でき、今はホッとしているところです。

授業は基本的に月～金曜日の5時限まででしたが、講師の都合で土曜日や夜間になることもあり、第一線で活躍される先生方の体験談などを聞くことはとても興味深く学ぶ喜びを感じまし

た。しかし学ぶ喜びもある一方で、課題レポートや修了試験にはとても苦労しました。年齢的に記憶力は低下するばかり、1つ覚えて3つ忘れてしまう私にとってはつらい現実でした。試験前日に徹夜したこともありましたが、試験当日はフラフラで試験中にウトウト・・・やはり年齢に合った勉強の仕方があるのだと反省もしました。未だに自分に合った勉強の仕方が分らず、やはり苦労しているところです。

半年間の学生生活では感染対策についての知識を学ぶ以外にも、同じ志を持つ仲間との出会いがありました。クラスメイトは23名、今も毎日“北里感染管理メーリングリスト”でメールのやり取りをしていますが、感染対策に関する相談や情報提供の場になっています。帰宅後メールチェックすることが日課でもあり楽しみでもあります。認定看護師取得にあたって不安もあり迷いもしましたが、今はチャレンジしてよかったと心からそう思っています。市民病院は認定看護師取得への理解や援助があり恵まれた環境にあります。ぜひ他領域でも認定看護師取得を目指してほしいと思います。

最後に、今後の私の役割は半年間の研修で学んだことを病院の感染対策活動に生かせるように取り組んでいくことだと思っています。感染対策に関する質問や相談など気軽にご相談ください。お待ちしております。(PHS 246)



担当講師を囲んで

実習指導者講習会研修報告

回復期リハビリテーション病棟主任
下青木育美

H21.12.10～H22.2.23 の期間で行われた実習指導者講習会を受講させていただきました。

講習を受講するなかで、学生の特徴を捉え実習指導要項を理解し学生のレディネスに即した指導でなくてはならないこと、指導するにあたっては学生観、指導者観、教材観の3観が重要となってくること、またそれを言語化し誰が見ても指導に活かせるものにしなければならないことの難しさを学びました。

学生は大きな不安を抱えて実習に臨んできており、学生に関心を持つだけでも学生からの印象は大きく変わります。“後輩を育てる”という気持ちで臨床指導者だけでなく病棟全体で学生が実習し易い雰囲気づくりをすることが大切です。

最後に一言！『してみせて、言って聞かせて、させてみる、誉めてやらねば人は育たじ』鹿児島県看護協会長の秋葉先生のお言葉に共感し、これぞ指導の原点だと感じました。

3階西病棟主任 松元美智子

約3ヶ月間、鹿児島看護協会で開催された実習指導者講習会に参加しました。臨床指導者として看護学生の指導に関わってきましたが、今回のような長期にわたっての研修会に参加するのは初めての経験でした。

高齢者社会といわれる今日、医療機関での死亡割合が増加している一方、少子化の影響で18歳人口は毎年減少傾向にあります。臨地実習の目的は、後輩・看護師育成することです。看護師という職業に夢を持ち、一生懸命学んでいる学生さん方に少しでも看護の喜びを知ってもらいたい、さらに夢に向かってがんばってもらうことこそ、私たち臨床指導者の役割でもあると思います。また、看護学生・後輩指導にあたることで、指導者自らも看護の喜びを改めて自覚することができれば自己の成長へもつながるのではないかと考えます。

マイブーム

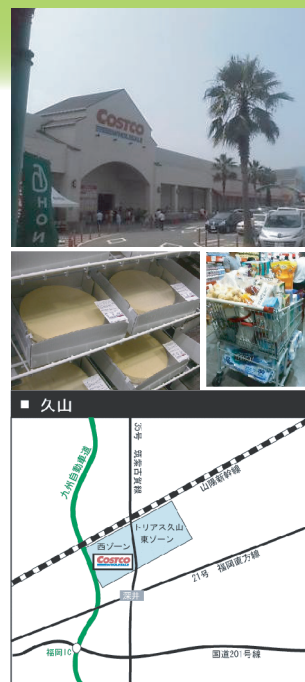
3階東病棟:松浦友香さん

私のマイブームはコストコホールセール(以下コストコ)です。

このコストコは、福岡県久山町にある会員制の巨大アメリカンスーパーのことです。以前から興味があったのですが、お店まで距離があること、会員制で年会費がかかること、扱っているもののほとんどがケース売りということでなかなか足が向きませんでした。

ある時、知り合いにコストコの会員の人がいて、連れて行ってもらう機会があり行ってみたところ、規模の大きさ、扱っているアイテムの多さにびっくり！

特に私のお気に入りにはホルのチーズケーキです。これは絶妙な酸味と甘さがベストマッチでとても美味しい！もう一つは洗濯柔軟剤でアメリカブランドのカーランドです。柔軟剤というとダウニーが有名ですが、私はこのカーランドのくどくないほのかな香りがお気に入りです。コストコに買い物に行って帰ってきて荷物を片付けている最中から、またコストコに行きたいなあ…と思うくらいハマっています。とにかくすべてのスケールが大きいです。機会がありましたらぜひ行ってみてください。



4階西病棟:喜多栄次さん

私が川内に来てから7年目になりました。出身は指宿です。皆さん指宿をご存知ですか？薩摩半島の南端にある市で、指宿温泉の名で知られる観光の街です。温暖な気候から「日本のハワイ」を自称していて、観光促進と冷房節約の観点から、毎年4月下旬に行われる市長の「アロハ宣言」から10月末まで市職員・銀行職員などがアロハシャツを公用服として着用しています。私が通っていた高校は今泉という地域にあり、テレビで話題となった「篤姫」の出身地となっています。これだけでは紹介しきれない地域の特長を活かしたさまざまな観光スポットが多数あります。「指宿」これが私の自慢です。

編集後記

新人研修の中で各人の課題発表に対して、よいと思った所を発表し合う「言葉の花束」というワークを行いました。新人看護師の反応は、「真剣に話を聞いてもらってうれしかった」「ひとに認められて自信になった」「褒められるのに慣れていないので恥ずかしい」「明日からまた頑張ろうと思えた」など…。

「褒めたら調子づいてしまうだけ」なんて思う人もいるかもしれませんが、褒めることの重要性が最近では検証されています。褒めると、その人のやる気だけでなく、潜在的な能力までも引き出せると言われています。

しかし、褒めるにしても相手との人間関係が重要な要素になります。好意を持っていない人や尊敬していない人から褒められても、相手の心には響きません。日頃からコミュニケーションをきちんと取って、周りの人たちの強みや特徴や長所と言ったところを見つけ出し、褒めてみましょう！